

～職人探訪～

十日町
きもの
GOTTAKU

知ると
好もつと
きものなる。

2019年 5月 16日(木) 17日(金) 18日(土) 19日(日)

きもの総合産地 新潟県十日町市のきもの工場を見学できる 特別な4日間。

主催

十日町きものGOTTAKU実行委員会

ホームページ



日本で唯一

きもの総合産地十日町が行う
きもの工場見学イベント

イベント概要

全国初のイベントとして昨年開催し、大好評をいただいた「きもの工場見学イベント『～職人探訪～十日町きものGOTTAKU』を5月16日（木）～19日（日）の4日間開催します。

きもの工場を期間限定で見学できる全国唯一の貴重な機会です。目の前で繰り広げられる匠の技の数々を存分にご堪能ください。

申し込み

事前
予約制

参加
無料

参加受付期間

2/18～5/10
月 金

工場見学申込サイト

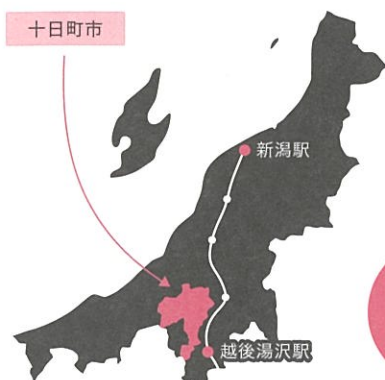


参加には申込サイトからの登録が必要です。
また、一般の方向けの工場見学イベントです
ので同業他社のお申込みはご遠慮願います。

工場見学スケジュール

企業名	見学内容			各回 定員	5月16日（木）			5月17日（金）			5月18日（土）			5月19日（日）		
	織	染	加工		10:00 11:30	13:30 15:00	15:30 17:00	10:00 11:30	13:30 15:00	15:30 17:00	10:00 11:30	13:30 15:00	15:30 17:00	10:00 11:30	13:30 15:00	15:30 17:00
(株)青柳	染			20	○	○	—	○	○	—	○	○	—	○	○	—
(株)関芳	染			10	—	—	—	○	—	○	○	—	○	○	—	—
吉澤織物(株)	織	染		20	○	○	—	○	○	—	○	○	—	○	○	—
蕪重織物(株)	織			10	○	○	—	○	○	—	—	—	—	—	—	—
勇屋織物(株)	織			10	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
渡吉織物	織			10	—	○	○	—	○	○	—	○	○	○	○	—
(株)はぶき	染	加工		15	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—
柏田屋(株)	染			10	○	○	—	○	○	—	○	○	—	—	—	—
(株)シルクワーク			加工	15	○	○	—	○	○	—	○	—	—	—	—	—
(株)いつ和	染	加工		10	○	○	—	○	○	—	○	○	—	—	—	—
(株)ハビネス			加工	5	○	○	○	○	○	○	—	—	—	—	—	—
(株)きものブレイン			加工	6	○	—	○	○	—	○	—	—	—	—	—	—

※見学内容：織= 織 染= 染 加工= 加工



東京からお越しの場合

車
関越自動車道利用
(六日町IC下車)で
約3時間。

電車
上越新幹線～
ほくほく線で
約2時間。

十日町への交通案内



Instagram

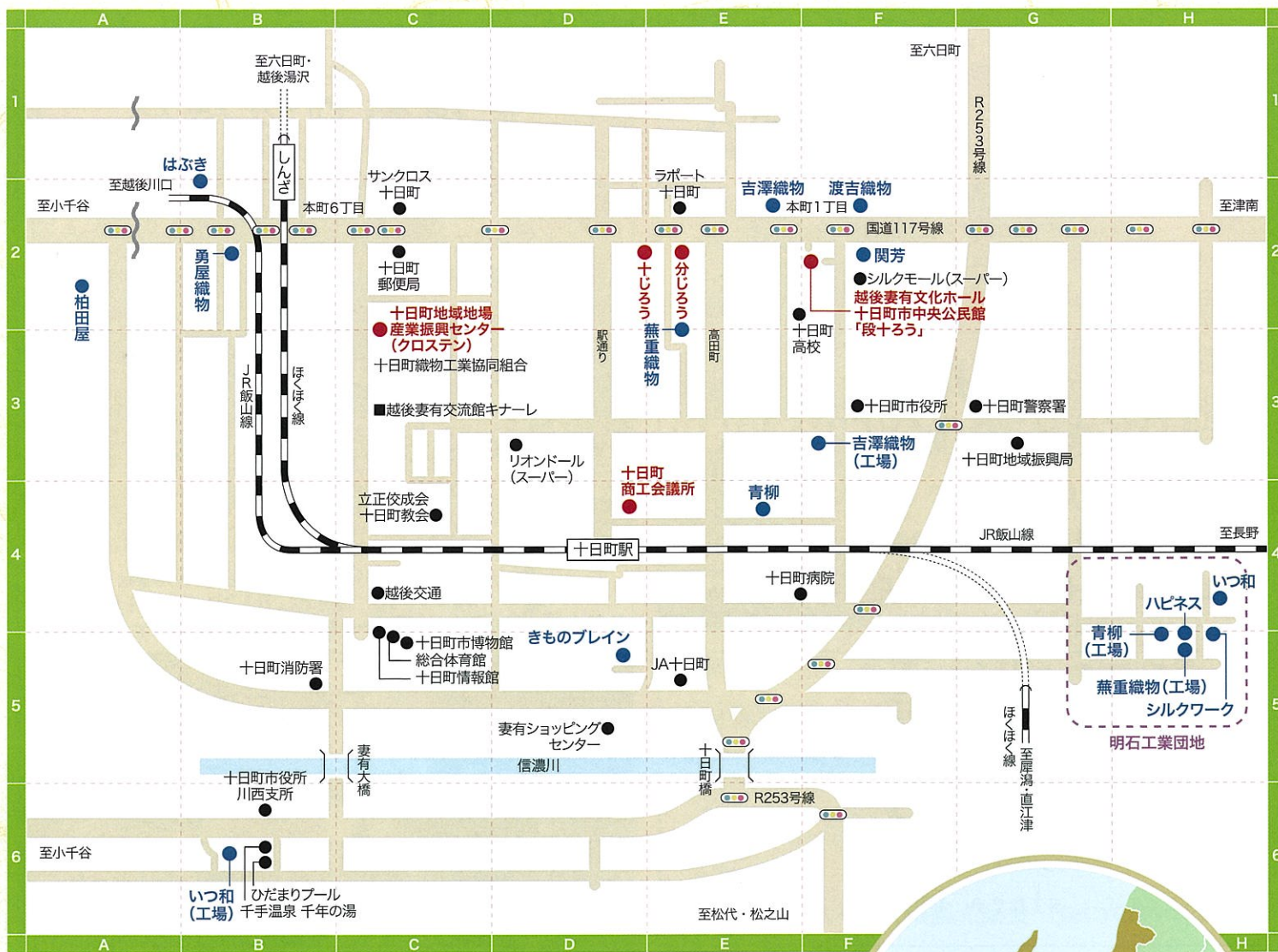
＃十日町きものgottaku

Facebook

＃～職人探訪～十日町きものGOTTAKU

お問い合わせ

平日 新潟県十日町地域振興局 企画振興部
TEL：025-757-5517 (9:00～17:00)
土日祝日 十日町市総合観光案内所
イベント開催中 TEL：025-750-1277 (9:00～17:00)



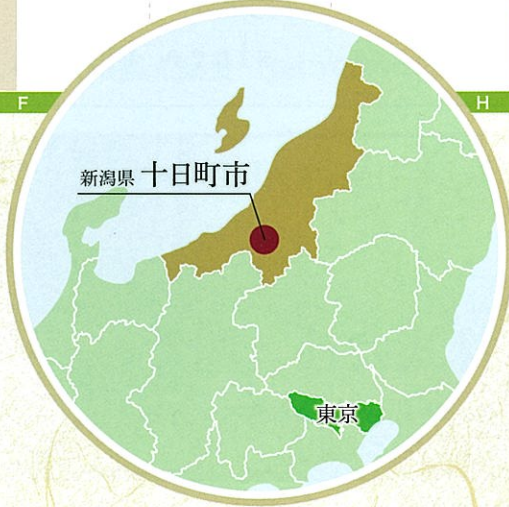
 **十日町市**
TOKAMACHI CITY

観光交流課
TEL 025-757-3100
FAX 025-757-2285

 一般社団法人
十日町市観光協会
Tokamachi Tourist Association

TEL 025-757-3345
FAX 025-757-5150
URL <http://tokamachishikankou.jp>

〒948-0079 新潟県十日町市旭町251番地17 十日町市総合観光案内所内



きものの旬ふ街
十日町きもの月間
2019



きものの旬ふ街 十日町きもの月間 2019

十日町織物の歴史は、正倉院に所蔵されている麻布(越後布)まで
1200年以上さかのぼります。

その歴史と伝統に育まれながら、先人の卓越した技術と多くの努力により、
高品質の高級麻織物を産出してきました。

その後の絹織物への転換により、日本でも屈指の織物産地として、
人々の生活や文化に根付いてきました。

現在、十日町市は伝統的工芸品に指定された
「十日町緋」「十日町明石ちぢみ」に代表される先染と、

「振袖」「訪問着」に代表される後染の技術の両輪を併せ持つ
全国屈指のきもの総合産地となっています。

雪国十日町市が、冬の眠りから覚醒する新緑の季節に、
十日町市のきものを見て、着て、感じていただけるイベントを、ぜひご体験ください。



きものの産地十日町が
染め織りの粋で咲き競います

十日町
きものフェスタ 2019



2018 経済産業大臣賞
特選手描振袖 王朝吉祥文
吉澤織物株式会社

開催日 2019年4月8日(月)～13日(土)
※13日(土)入賞発表 ※どなたでもご入場できます

時間 9:00～17:00(最終日は15:00迄)

会場 十日町地域地場産業振興センター
(クロステン)大ホール **MAP C-3**

入場料 無料 ※きもの着用でご来場の方に記念品を進呈

全国有数のきもの総合産地としての十日町最大のイベントが「十日町きものフェスタ」です。大正時代から続くこの催しは、全国の卸商社・小売店様や一般消費者の皆様をお迎えし、審査と評価をいただくもので、産地メーカーにとりましては商品力のアピールと手応えを確かめる重要な機会になっています。

主催 十日町織物工業協同組合 Tel: 025-757-9111



多くの人と喜びを共有できる、
一生に一度の成人式

十日町市成人式



新成人
抱負発表



越後妻有文化ホール・十日町市中央公民館「段十ろう」

開催日 2019年5月3日(金祝)
時間 11:00~12:00
会場 越後妻有文化ホール 段十ろう MAP F-2

越後妻有文化ホール「段十ろう」を会場に、開催される成人式。
今回の対象となる新成人は平成10年4月2日から平成11年4月1日生まれの518人です。
色鮮やかなきもの姿で友人との思い出話に花を咲かせ、家族や恩師、大勢の人と喜びを分かち合う一生に一度の式典が、若者の活気で満ちあふれる空間となります。

主催 十日町市
お問い合わせ 十日町市教育委員会 文化スポーツ部 生涯学習課
Tel : 025-757-5011

Kimonestagram



第43回 十日町きものまつり

きもので賑わう春の街
楽しいイベント盛りだくさん

開催日 2019年5月3日(金祝) **時間** 11:00~15:00
会場 本町1~6丁目、高田町1丁目、駅通り

**きもの里を
きもので歩こう**
きものを着て参加したい方に
きもの貸し出しや着付けを行います。
●きもの貸出・着付け — 5,000円
●着付けのみ — 3,000円
その他有料レンタル等あり

**十日町きもの
パーティー2019春**
きもの街・十日町で、
きものを通した様々な交流が始まる

織物の街としての伝統を誇る十日町市の春の一大イベント「十日町きものまつり」。市街地中心部の本町通り・駅通り・高田町一丁目歩行者天国となり、色とりどりのきものを着た老若男女で溢れます。豪華景品の当たるお楽しみ抽選会、無料茶席、きもの掘り出し市、十日町きもの女王撮影会などのイベントのほかに、十三詣り、稚児(ちご)行列などの伝統行事も開催されます。うらかな春の日差しの中、お気に入りのきものを着て十日町を歩いてみてはいかがでしょうか。詳細については順次ホームページに掲載していきます。

主催 十日町きものまつり実行委員会
お問い合わせ 一般社団法人 十日町市観光協会 Tel : 025-757-3345

とぎとぎ十日町 <http://www.tokamachishikankou.jp>



雪ときものまちへようこそ

十日町織物 産地特別招待会



見学

各日先着10名様限定で
ご覧いただけます。

事前申込要

4月25日(木)までに十日町商工会議所(担当: かぶらき 蕪木)まで
お電話またはメールでお申し込みください。
Tel : 025-757-5111
mail : kaburaki@tokamachi-cci.or.jp

主催

十日町織物産地特別招待会実行委員会

お問い合わせ

十日町商工会議所 Tel : 025-757-5111

開催日 2019年5月9日(木)~12日(日)

時間 10:00~17:30

会場 十日町地域地場産業振興センター
(クロスステーション)大ホール・中ホール MAP C-3

十日町市は、「十日町明石ちぢみ」や「十日町緋」が伝統工芸品に指定されているのはじめ、十日町友禅染めの華やかな「振袖」や「訪問着」等も生産し、東日本を代表するきもの産地として知られています。

また、縄文文化の華とたたえられる新潟県唯一の国宝「火焰型土器」を有し、日本一おいしいと言われる魚沼コシヒカリの産地でもあります。

こうした様々な魅力に溢れた十日町市において、雪国ならではの春の恵み“山菜”と美しい“新緑”の季節に、十日町産地の総力を集結し「十日町織物産地特別招待会」を開催します。「きものづくり」に携わる職人たちが心をこめて作り上げた逸品をご覧ください。

職人探訪 十日町きものGOTTAKU



日本でここだけ
普段見ることのできない
きもの関連工場を一般公開します



開催日 2019年5月16日(木)~19日(日)

会場 市内12社

(株)青柳、(株)関芳、吉澤織物(株)、蕪重織物(株)、
勇屋織物(株)、渡吉織物、(株)はぶき、柏田屋(株)、
(株)シルクワーク、(株)いつ和、(株)ハビネス、(株)きものブレイン

完全予約制

一般の方を対象にした工場見学イベントです。
同業他社の方の入場はお断りさせていただきます。

主催 十日町きものGOTTAKU実行委員会

お問い合わせ 平日：新潟県十日町地域振興局 企画振興部

Tel : 025-757-5517

休日：十日町市総合観光案内所

Tel : 025-750-1277

ホームページ <https://www.kimono-gottaku.jp/>

これまで関係者以外は見る事ができなかった、きもの
関連企業12社の工場を一般の方々に公開します。

各工場では、織り、染め、メンテナンス等職人の技を目
の前で見ることができます。年に1度のこの機会にぜひお
越しください。

なお、各工場の見学はすべて予約制となっています。
詳しくは「十日町きものGOTTAKU」のホームページをご
覧ください。



きものの街を時に、
キルトで飾りつくしたい

第15回
きものの街のキルト展



開催日 2019年5月12日(日)～26日(日)

十日町を彩るイベント「きものの街のキルト展」が始まると、市街地にはさまざまな色や技法のキルトが飾り付けられます。

会期前に募集される「きものの街のキルトコンテスト」では、全国からキルト作品を募集し、入賞作品を含めた応募者全員のキルト作品を展示します。

また、期間中はワークショップなども開催され、作り手も見る側も一緒に楽しめるイベントです。

マップを片手にアーケードを歩きながら、色とりどりのキルトを見たり、ふらりとお店に立ち寄り。キルトを鑑賞しながら気ままに楽しく、散歩がてら街を歩いてみませんか？詳細については順次ホームページに掲載していきます。

十日町 <http://www.tokamachishikankou.jp>

主催 きものの街のキルト展実行委員会

お問い合わせ 一般社団法人 十日町市観光協会 Tel: 025-757-3345

2019きものの街の
キルトコンテスト
応募作品展示

◆時間 10時00分～17時00分
◆会場 十日町商工会議所 他

特設展 キルト作家 吉田サチ子作品展

◆時間 10時00分～17時00分
◆会場 市民活動センター 十じろう

◆入場料(全館) 800円

キルトサークル作品展示

県内外キルトサークル作品の展示
◆展示場所 市街地商店街

伝統の技にふれる 染織体験&工房見学

「青柳のキモノ」は
青柳 明石工房にて誕生します

創業以来、オリジナリティあふれる
逸品を手がけ、創案から最終工程まで
全ての工程作業を可能にしました。

きものが誕生するまでの工程を
すべて目にすることができる
青柳の工房を見学してみませんか。

青柳の
キモノの
since 1938

～関芳金彩工場見学～

染の技術による一貫生産で手掛けた振袖、留袖、
訪問着等に付加価値を加える金彩工程を見学
体験してみませんか。

株式会社 関芳
TEL: 025-752-3131
新潟県十日町市山本町5丁目873-1

※きものGOTTAKUの期間に限ります。

紙ねんどファンタジーワールド
おとぎの国美術館 約2,000体の紙ねんど人形ギャラリー。
紙ねんどアートの織りなす雅やかさと
メルヘンの世界をお楽しみください。



染織体験工房
染織体験工房(美術館内)で、きものの街「十日町」
の伝統工芸の技を体験してみませんか？
旅の楽しいお土産、記念になること間違いなしです。

《着物・帯・小物展示販売》

■所在地
新潟県十日町市寿町4丁目8番地
吉澤織物(株)吉彩館2号館内
開館時間 9:30～17:00
入館料:大人500円、小・中学生300円
<http://www.otoginokuni.co.jp>

入館・体験工房のお問い合わせは...きもの絵巻館まで
新潟県十日町市寿町3-2-15
Tel. 025-757-9529
<http://www.kimonoemakan.co.jp>

協賛イベント

十日町の
きもの
歴史展

2019年5月3日(金) 入場 無料
午前10時～午後3時
会場 十日町市本町3丁目 十じろう

5月8日(水)～26日(日) ※月曜日休館
午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
入館料 300円
会場 十日町市西本町1丁目 十日町市博物館

主催 十日町市博物館 ☎025-757-5531



十日町の思い出づくりに

周遊ツアー



きものまつりを明石ちぢみで散策

～春の風を十日町で感じる～

伝統工芸品「明石ちぢみ」を着て、
きもの三昧の2日間をお楽しみください。

旅行日 2019年5月3日(金)～4日(土) メ切 4月2日(火)

〈清津峡温泉宿泊プラン〉

定員 8名 ※最少催行人数6名 料金 大人 ひとり **29,700円** (1泊2日 2食付)

〈ビジネスホテル宿泊プラン〉

定員 8名 ※最少催行人数2名 料金 大人 ひとり **18,000円** (1泊2日 朝食のみ)

内容 きもの着用体験、きものまつり散策、
清津峡(清津峡温泉プラン)または手織り体験(ビジネスホテルプラン)



春の十日町・山菜三昧

～山菜ごっつおを食べよう～

春の十日町、あなただけの場所で
山菜採りと料理の体験をいかがですか。

旅行日 2019年5月18日(土)・19日(日)

メ切 5月7日(火) 定員 各日20名 ※最少催行人数8名

料金 大人 ひとり **8,700円** (日帰り)

※行程の詳細については、(一社)十日町市観光協会のホームページに
順次掲載いたしますのでご覧ください。
(<http://www.tokamachishikankou.jp/>)

お問い合わせ

一般社団法人十日町市観光協会 Tel:025-757-3345

～いつもの場所へ、きもので～

十日町織物工業協同組合

〒948-0003 十日町市本町6の1丁目71-26
TEL025-757-9111 FAX025-757-9116
E-mail t.oriikumi@mail.tiara.or.jp

～職人探訪～

十日町きものGOTTAKU

2019年5月16日(木)

～19日(日)の4日間

十日町市内きもの工場 12社 **完全予約制**

青柳の

since 1938

十日町織物 産地特別招待会

2019年5月9日(木)～12日(日)
10:00～17:30

クロスデン十日町 2F 大ホール・中ホール

主催:十日町織物産地特別招待会実行委員会(十日町商工会議所)

NOKYO WEDDING はじまります

5つの約束

- 1 安心の価格設定
- 2 地場産野菜とお米のビュッフェ NOKYO BAR
- 3 ラポート×MAISON DE MOMYUのコーディネート
- 4 5,400組の実績で古き良き十日町の結婚式を提案
- 5 お子様大満足のキッズプロジェクト

rapport 十日町市本町2丁目350番地
ラポート十日町 **0120-512-189**



道の駅 クロスデン十日町

(一財) 十日町地域地場産業振興センター

新潟県十日町市本町六の一丁目71番地26
電話: 025-757-2323
URL: <http://cross10.or.jp/>

幸せ呼ぶ傘つるし雛

日帰り温泉 **明石の湯** 湯ったりと、リラックス

営業時間 10:00～22:00
休館日 毎週水曜日
入館料 大人(中学生以上) 600円
小学生 300円
小学生未満 無料

TEL 025-752-0117

YUMI KATSURA

株式会社 関芳

新潟県十日町市山本町5丁目873
TEL 025(752)3131

十日町市総合観光案内所

よるとこ きくとこ あるとこ -とつこ-

Tocco 観光案内 お土産販売

十日町駅西口(ほくほく線側)2階・TEL 025-750-1277

芸術とファッションの都「パリ」で

富士吉田市・西桂町の生地を使用したバレエ衣装を披露！

富士吉田市産業観光部商工振興課

はじめに

富士吉田市・西桂町は、「郡内」と呼ばれる織物の一大産地でした。江戸時代には「郡内縞」や「甲斐絹」といった細い糸で繊細な絵柄を織り上げる高級な織物として広く全国でも知られていました。その後、機械化による大量生産の時代、戦争による生産量の激減、ガチャマン時代、グローバル時代による安い海外製品との戦いなど隆盛と衰退を繰り返してきました。

近年、産地の将来に危機感をもった2代目3代目の中から、ファクトリーブランドが生まれるようになり、産地としての認知度も上がってきました。この流れを産地全体として継続して取り組める活動として、「ハタオリマチのハタ印プロジェクト」が始まりました。

今回のバレエ衣装の制作プロジェクトは、このような流れの中で2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向け、富士吉田市・西桂町がフランス共和国を交流相手国とするホストタウンに登録決定したことから、フランス共和国関係者との人的・経済的・文化的な相互交流の一環として実現したものです。

素晴らしい出会いがプロジェクトを成功に！

ジャポニスム2018公式企画「伝統と先端と・日本の地方の底力」に、2019年8月に山梨県で予定されているパリ・オペラ座バレエ団所属ダンサーをはじめとする、国際的なダンサーによるバレエ公演での衣装を展示・披露しました。この衣装は、1000年以上の歴史を持つ日本の織物産地である富士吉田市の生地を使用して制作したものです。3日間の企画イベントでは、約1000人の方にご来場いただきました。また、2月5日に開催された「公式レセプション」においては、

きてらまさと
木寺昌人在フランス日本大使をはじめ多くの関係者

にご覧いただくことができました。

このプロジェクトは、2年前に、アートディレクターであり、アルファ・リブラ社(ALFA LIBRA)の創業者であるフレデリック・フォンタン氏(Frédéric FONTAN)との素晴らしい出会いからスタートしました。世界中でバレエ公演を展開するフォンタン氏は、アジアにおいて既にその実績があり、日本公演も視野に入れていました。そんな折、日本の山梨を訪れ、富士吉田市・西桂町の生地を見ていただく機会を得ました。

もう一つの素晴らしい出会いは、今回デザインを担当していただいたアニエス・ルテステュ氏(Agnès LETESTU)です。彼女はパリ・オペラ座バレエ団所属のエトワールとして、パリ・オペラ座をはじめ世界の権威ある劇場を舞台に長きにわたり活躍し、「20世紀で最も偉大なバレリーナの一人」と言われ、フランス芸術文化勲章を授与されるなど素晴らしい実績をもつ著名なダンサーであります。また、現在はダンサー兼衣装デザイナーとして活躍しています。

そのような方々との奇跡とも言える出会いが、今回の大変素晴らしい展示・披露につながったものと考えております。



左：フレデリック・フォンタン氏
右：アニエス・ルテステュ氏

日本の伝統技術とフランスの文化との融合！



バレエ衣装の展示

である「織物」とフランスの文化を代表する「バレエ」を見事に融合させました。2人には心より敬意と感謝を申し上げます。

多くのフランス人に高い技術を実感していただいた！

当日は、バレエ衣装の展示以外に、富士吉田市・西桂町の生地の素晴らしさや高い技術を実感していただくため、葛飾北斎の富嶽三十六景の絵柄を絹で繊細に織り上げた布を使用して「くるみボタン」に仕上げるワークショップを行いました。これも大変な人気となり期間中 900 人を超える方々に体験していただきました。

また、この機会に本産地の高い品質を実感していただくために、ネクタイやストール、傘などの製品を展示し、多くの人々にご覧いただくことができました。

芸術とファッションの都「パリ」で、富士吉田市・西桂町の生地を使用したバレエ衣装を披露することが出来たことを契機に、当産地の認知を国内外に高め、今後の販路拡大を目指したいと思えます。

ハタオリマチのハタ印プロジェクト HP

<http://hatajirushi.jp/>

ジャポニズム 2018

<https://japonismes.org/>

富士吉田市・西桂町を含む山梨県の織物は、西暦 967 年に延喜式^{えんぎしき}に掲載されるなど 1000 年以上の歴史があります。細い糸で繊細な絵柄を織り上げる高い技術は、現在も世界の高級ブランドにも採用されています。

一方、フランスにおけるバレエは、400 年以上の歴史があり、パリ・オペラ座に代表されるバレエ団は世界最高峰の 1 つであると聞いております。

今回のプロジェクトは、フォンタン氏とルテステュ氏の素晴らしい仕事により、日本の伝統技術



「くるみボタン」に仕上げるワークショップ



プロダクトの展示

このことに関するお問い合わせは

〒403-8601 山梨県富士吉田市下吉田 6 丁目 1 番 1 号

富士吉田市産業観光部商工振興課

電話 0555-22-1111 内線 401 E-mail shoko@city.fujiyoshida.lg.jp